

農協と組合員をつなぐ広報誌

# なかしゅんぱ

# 謹賀新年



# 新年号

2015 Vol 444



新春のおよろこびを  
ゆきしあげます

新しき年を迎え皆様の  
ご多幸と祈りゆきしあげます

平成二十七年元旦

代表理事組合長	小湊 保
副組合長理事	藤倉 紀夫
専務理事	佐藤 猛
常務理事	大山 武永
理(事務経済委員長)	望月 英彦
理(営農生産委員長)	西川 寛稔
理事	伊藤 一吉
理事	遠藤 均
理事	山崎 浩二
代表監事	平井 真一
監事	荒 青史
監(員)	紫藤 正幸
外職員	一同

中春別農対策協議会会長

西川 寛稔 外会員一同

中春別農協青年部部长

松井 和孝 外会員一同

中春別農協女性部部长

齋藤 道子 外会員一同

中春別農協良質生乳生産  
推進委員会委員長

西川 寛稔 外会員一同

中春別農協良質粗飼料生産  
利用対策委員会委員長

伊藤 一吉 外会員一同

中春別地域河川流域環境保全  
推進委員会委員長

西川 寛稔 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長

竹田 潤 外会員一同

中春別乳牛検定組合組合長

小湊 保 外組合員一同

中春別農協農業後継者対策  
協議会会長

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協年金友の会会長

高橋 昌晴 外会員一同



新年のごあいさつ

# 経営の確立と酪農生産 基盤の強化を目指す

中春別農業協同組合 代表理事組合長 小湊 保

明けましておめでとうございます。2015年の輝かしい新年を迎えられました組合員並びにご家族の皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと我が国の経済は財政支出、量的緩和などにより円安、株高が進み国全体は回復傾向になつておりますが、消費増税の影響による消費低迷が続き、GDPが予想値を下回る状況でまだまだアベノミクスが私共には浸透していません。

昨年は数年来の異常気象、自然災害も当地区に於いては発生する事なく、自給粗飼料の収穫調整作業も1番草、2番草とも天候に恵まれた中終えることが出来ました。8月以降の生乳生産量も前年比を上回る状況ですが、秋以降、収穫した良質な粗飼料を給与しており年度末に向けては、生乳生産の増になる様期待をしております。

酪農・畜産政策価格は、昨年末に加工原料乳補給金単価は25銭の引き上げ交付対象数量は180万トンで決定されました。一方、用途別原料乳価格はプールで3円9銭の引き上げとなり、生産回復の遅れている現場には多少なりとも意欲の湧く決定内容となりました。

畜産においては肉資源の減少により廃用、ホル牡、F1、和牛などが高値安定で推移をしておりますが、飼料・肥料を始め営農生産資材の高止まり、電気料金の値上げによる農業所得が減少しております。併せて、日豪EPAの合意やTPP交渉の行方によっては、酪農畜産業への影響も憂慮されております。この酪農環境を打開すべく昨年7月に振興局、市町、各JAが集まり将来に亘り根拠酪農が地域社会の維持拡大を図るべく現状課題と将来の方向性を確認共有し、必要な対策を取り組むことを目的とし、「新たな根拠酪農構想検討会」を立ち上げ議論を重ね、今年の2月を目前に内容を精査確認し組合員の皆様に示したいと思っております。

また、昨年6月に閣議決定をされた農協改革は、農業の競争力強化成長産業化を実現させる目的のもと、企業の農業経営や農業関連事業への参入促進を図るべく全農の株式会社化、中央会制度の見直しなどの農業改革に関する

意見を提起しました。

一方、与党では農協改革は自己改革に委ねる事を基本とし規制実施計画、農林水産業地域の活力創造プランに反映されました。JAグループ北海道はこの改革プランに沿った中、組合員組織討議を実施し、多くの提案・意見を受け、農業農協改革は自らの意志で行う事を基本に実行計画指針を策定した所です。

近年、道内の酪農畜産は高齢化、後継者不足、TPP参加問題など先行きの不安定による離農が増加しており、生産基盤のみならず地域コミュニティの存続も危機的状況になっております。その現状下で平成27年度酪農畜産政策価格が、今月中旬頃に決定する予定となっております。「持続可能な経営の確立と酪農生産基盤の強化を目指す」を柱とし、担い手が将来に亘り就農営農が出来る様、予算概算で示されている額を満額措置される様、年明けより要請運動に入ります。特に今予算で新たな事業として、地域の収益性の向上の取り組みとする、畜産クラスターは、個々の経営と地域の振興を図るためにも推進をして参りたいと思っております。

近年、家畜糞尿、雑排水の河川流出事故が発生した事から、昨年4月に酪農と漁業が将来にわたり共存共栄できる社会を作ることとして、別海町畜産環境に関する条例が施行され、規制部分は、3年間の猶予期間が措置されました。現在、国営環境保、全型かんがい排水事業も、予算増額があり、計画以上が設置されております。併せて前年度の総会で別海バイオガス事業への出資をご承認いただきました。この事業への参加、利用していただきながら未整備施設の解消に向け活用されるようお願い致します。貿易交渉の進捗状況、為替相場動向など急激な変化が将来に向け不安視されておりますが、組合員の経営所得と生活の向上を目指し、農協の各事業を積極的に推進して参りますので、組合員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、本年も組合員、ご家族の皆様のご健勝と充実した一年でありますようご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



# 平成27年の 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるもの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

平成26年は午年(うまどし)でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われています。

昨年の11月10日に行われた関係国の首脳会合では、結果として大筋合意には至らず合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、国民世論の形成に向けた取組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAグループ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラ

ン(実行計画指針)」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりたいと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自国で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかつていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取組み、農業・農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことが肝要であります。やもすると、経済合理主義のもと、効率性や競争が豊かな暮らしの道しるべになるとの風潮がありますが、それぞれの地域や国の実情、多様な価値観を踏まえ、真に豊かな暮らしを波及し実現していく姿勢が今まさに必要ではないでしょうか。

今年の干支は未年(ひつじどし)です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切に、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。

結びになりますが、本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。

新年のご挨拶

# 良質な乳製品を届ける 事が未来へと繋がる

中春別酪農対策協議会 会長 西川 寛稔



新年明けましておめでとうござ  
います。

新年を迎え会員並びに、ご家族  
の皆様におかれましては、健やか  
にお過ごしのことと謹んでお慶び申  
しあげます。

また、日頃より当協議会の事業  
に対しまして、特段なるご理解と  
ご協力をいただき厚くお礼を申し  
上げます。

さて、昨年の酪農情勢を振り返  
りますと、加工原料乳生産者補給  
金は25銭引上げの12円80銭、加工  
原料乳供給安定緊急特別対策事業  
が措置され補給金単価換算で25銭  
相当が上乘せとなり、チーズ向け  
生乳対策は、15円41銭に引き上げ  
られ補給金単価は13円25銭相当と  
なりました。限度数量は交付対象  
数量に名称が変更され、1万トン  
減の180万トンと微減で設定さ  
れました。

一方、用途別原料乳価は経営安  
定のため早期決着が図られ、プー  
ル乳価で税込み5円47銭の値上げ  
となり、農協平均で90円を超える  
価格となりました。しかしながら、  
配合飼料の高止まりと生産資材、  
動力光熱費など生産諸資材の価格  
高騰がとまらず厳しい経営環境が

続いています。

また、日豪EPAが合意される  
など、国際経済連携が加速する中  
特にTPP交渉に対しては、今後  
の動向に注視しながら重要5品目  
の国境措置を守るよう関係組織  
と連携して運動を続けてまいります。

昨年の酪対活動につきましては、  
夏と秋の二度にわたり、道内選出  
国会議員並びに農水省生産局との  
意見交換をはじめ、施策提案を積  
極的に行いながら情報収集に取り  
組みました。

10月には、中司道議会議員と北  
海道農政部との意見交換を行い、  
担い手対策並びに有害鳥獣対策に  
ついて提案すると共に、畜産クラ  
スター事業に対する情報収集に努  
めました。

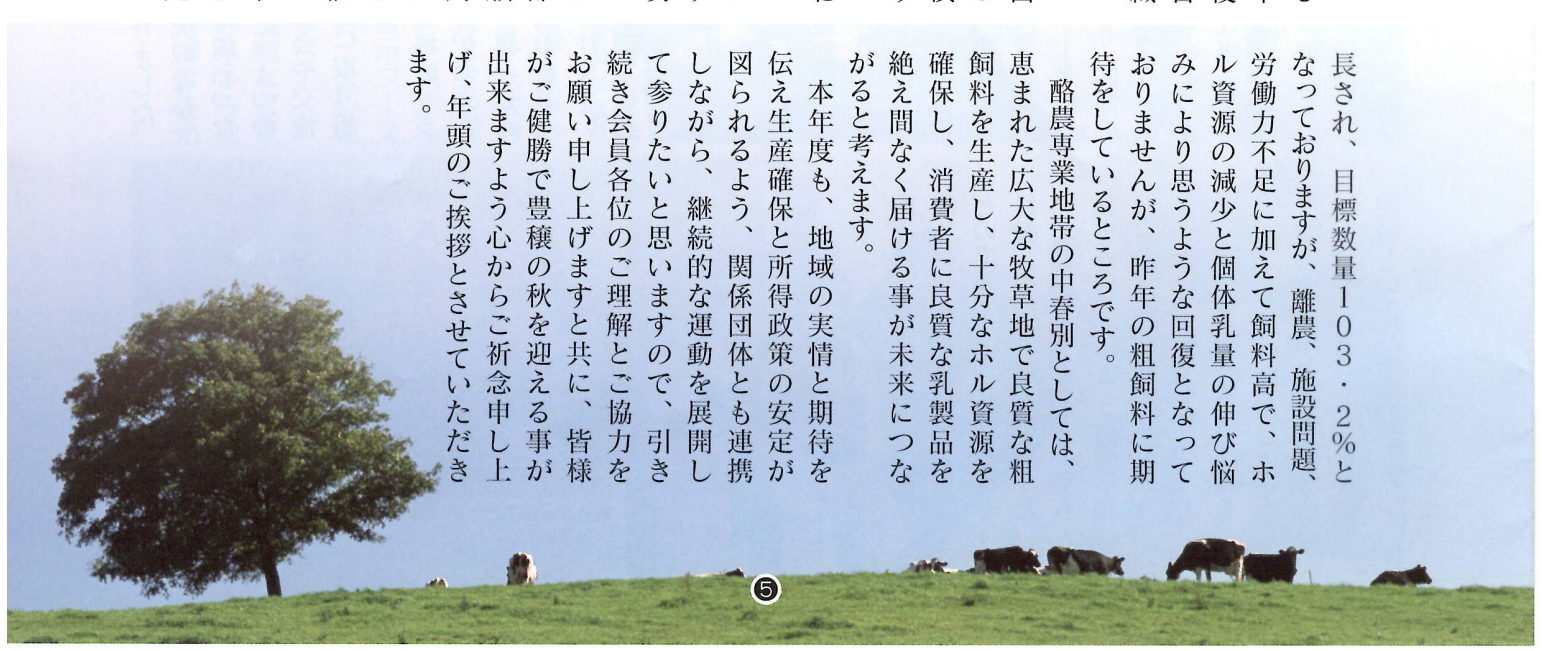
生活クラブ連合会消費委員との  
意見交換会には、今年度は女性部  
に加え青年部の方にも参加をお願  
いして、消費者、生産者双方の角  
度から意見を交わしました。特に  
新商品のロールケーキについては  
評判が良く、有意義な交流を開催  
できました。

さて、生乳生産については、今  
年度新たな酪農畜産大綱が策定さ  
れる事に伴い第8期対策が1年延

長され、目標数量103・2%と  
なっておりますが、酪農、施設問題、  
労働力不足に加えて飼料高で、ホ  
ル資源の減少と個体乳量の伸び悩  
みにより思うような回復となつて  
おりませんが、昨年の粗飼料に期  
待をしているところです。

酪農専業地帯の中春別としては、  
恵まれた広大な牧草地で良質な粗  
飼料を生産し、十分なホル資源を  
確保し、消費者に良質な乳製品を  
絶え間なく届ける事が未来につな  
がると考えます。

本年度も、地域の実情と期待を  
伝え生産確保と所得政策の安定が  
図られるよう、関係団体とも連携  
しながら、継続的な運動を展開し  
て参りたいと思っておりますので、引き  
続き会員各位のご理解とご協力を  
お願い申し上げますと共に、皆様  
がご健勝で豊穡の秋を迎える事が  
出来まますよう心からご祈念申し上  
げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





中春別農協青年部 部長 松井 和孝

新年、明けましておめでとうございます。

当青年部に対しましては組合員をはじめ、農協や関係機関の皆様には日頃よりご理解、協力を賜りますことを心より御礼申し上げます。



中春別農協女性部 部長 齋藤 道子

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に対しましては、農協をはじめ各関係機関の皆様には多大なるご指導、ご協力を

### 新年のご挨拶

## 新入部員3人をくわえ、4部会を中心に活動に取り組む

さて昨年は、1番草、2番草とも天候にめぐまれ多くの組合員が良質な粗飼料を生産することが出来、また充分な取量を得ることが出来ました。しかしながら成分に若干の水分不足が見られるように、これからの乳量にどういった影響がでるのか心配なところではあります。

また、政局に目を向けますと年末の選挙に伴い消費税増税は先送りされたものの、依然TPP交渉は続いており目を離すことが出来ない状態です。それにくわえ生産資材の高止まりは続いているものの、乳代の値上げや個体販売が高値で推移していることもあり、営農に

は明るい要素となりました。そのような状況のなか、青年部では新たに加わった3人の部員と共に、4つの部会を中心に研修会や交流会、消費拡大運動に取り組んできました。

1月には中春農協オリジナルロールケーキが発売され、それを商品に組み込んだ女性部との合同お歳暮セットも過去最高の注文をいただき、皆さんの協力に心より御礼申し上げます。平成26事業年度も残すと

### 新年のご挨拶

## 女性パワーを発揮し、厳しい時代を乗りこえよう

賜り厚くお礼申し上げます。昨年の北海道農業は農家戸数の減少や高齢化が加速する中、飼料・燃油など、生産資材価格の高騰、消費税増税、また、TPP交渉問題など農業をめぐる情勢は依然厳しく、深刻な問題となっております。

理解を深め問題意識を持ち、同じ立場で共通の認識の上に立った活動を展開することが必要だと思えます。

女性部では、仲間づくりから親睦を中心に研修旅行や勉強会、昨年は5月末、上湧別チューリップ公園見学後、チクレン北見工場視察して参りました。また、青年部と合同で千歳空港での牛乳乳

製品の消費拡大運動に行っていました。料理教室やプリアードフラワー作り、ちりめん布を使った花かざりなど楽しい行事もありました。趣味の会や園芸グループではパウンドケーキ作りやエコクラフト作り、開陽の丘でのひまわり視察など楽しい行事がたくさんありました。それぞれが仕事・家事・育児・介護などで忙しい中、女性部の活動に参加していただきましてありがとうございます。今後も交流を

ころ3カ月余りとなりました。これからも青年部同一層気を引き締めて各活動に取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては今後ともご指導、ご支援のほどをお願い申し上げます。新年の挨拶とかえさせていただきます。



深め女性パワーを発揮し、厳しい時代を乗り越えることのできるJ.A女性組織を目指して取り組んで参りたいと思っております。本年も私達女性部はより一層活発な組織活動を展開して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。新規加入も願います。新規加入も宜しくお願いたします。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。挨拶いたします。



新年のご挨拶

# 英知と情熱を結集し、 一丸となって進もう

中春別乳牛改良同志会 会長 竹田 潤

2015年、新春を迎えるにあたり、日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

また、当同志会事業運営につきましては農協をはじめ、関係諸機関、企業の皆様にも多大なご理解とご協力をいただき、役員、会員一同、心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年の同志会活動と致しまして、次世代を担う若い会員に向け「毛刈り講習会」の開催と新しい試みをはじめ、酪農技術の見聞を広げ技術を獲得し優れた飼養管理技術を誇る農場や企業を巡る「視察研修」の開催、多くの組合員の皆様にもシヨウへの興味、関心を深めていただけよう組合員便り「なかしゅんべつ」紙面上においてジャツジングコンテストの開催、育成牛飼養管理技術の研鑽・情報交換を行うべく「酪農視察研修」を開催して参りました。また、根室管内・北海道各協議会事業にも精力的に参加し、講習会やジャツジングスクールにおいて多くの会員が乳牛改良の知識・技術を深めて参りました。そのような活動が実を結び新規エクセル

ント獲得牛も7頭、累計218頭を数え素晴らしい成果を上げる事が出来ました。また、シヨウリングにおいても会員の活躍は目覚ましく、根室管内ブラック&ホワイトシヨウでリザーブ・シニア・チャンピオンの獲得をはじめ、根室管内共進会ではリザーブ・グランド・チャンピオン、リザーブ・シニア・チャンピオンの獲得、北海道総合畜産共進会では5頭の出品ではありましたが、3頭が1等賞3席、入賞率100%と好成績を取れ中春別ホルスタインのレベルの高さを示す事が出来、本年度元開催となる第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会に向け、大いに期待が持てると共に更なる努力を積重ねていく次第です。

しかしながら、昨年12月に衆議院が解散し「アベノミクス」や「TPP」の具体的内容など先行きが益々不透明になる中、依然として飼料穀物価格の高止まりが続き、生乳生産も思った程の伸びを見せず厳しい経営を余儀なくされておりますが、長年に亘る同志会の歴史の中で培われた英知を集結し、会員

一丸となり情熱を持って進んで参れば必ずや打破出来ると信じております。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し、『中春別』に根差した活動を展開して参りますので、組合員・農協・関係諸団体の皆様には、変わらぬご理解とお力添え節をお願い申し上げます。また、ご挨拶とさせていただきます。

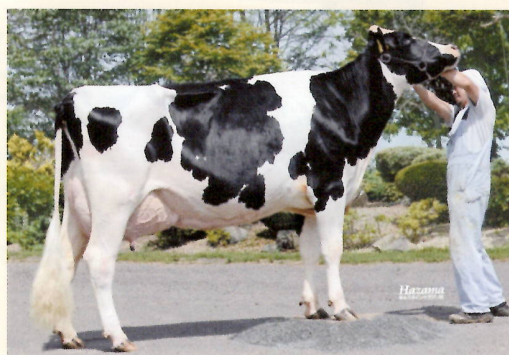


# 平成26年 新規EX獲得牛 累計218頭



**ダーハム アーリン ノミカル ET**

No.0264608929 H19.09.27生  
EX90 6-05  
4-07 305 M11,333kg F3.7% P3.3% SNF8.7%  
父:オシアナ アストロノミカルET  
母:フォーシーズンズ ダーハム アーリン  
所有者:久保 光大



**ライブリー デザイン エボニー ト**

No.0291910330 H21.12.01生  
EX90 4-06  
3-01 305 M12,355kg F3.0% P3.1% SNF8.8%  
父:レーガンクレスト デザイン ET  
母:ライブリー フィンリー エボニー トレビアン  
所有者:山田 光男



**ライブリー コレット サム**

No.0267108617 H20.07.05生  
EX90 5-11  
4-00 305 M11,090kg F3.9% P3.3% SNF8.8%  
父:レーガンクレストミスター ダーハム サム ET  
母:ライブリー レッドマン コレット  
所有者:山田 光男



**ライブリー K ジャスパー リル ET**

No.0291910705 H22.08.03生  
EX90 04-04  
2-11 305 M9,939kg F4.0% P3.2% SNF8.7%  
父:ウイルクックスビュー ジャスパー ET  
母:カーンピラ チャンピオン リッチー ET  
所有者:山田 晃嗣

## ミークネス インテリーグ バツカイ ハート

No.0269308695 H20.02.12生  
EX90 6-00  
3-06 305 M10,735kg F3.9% P3.0% SNF8.5%  
父:R-E-W バツカイ ET  
母:ミークネス インテリーグ ジャンボリー アイランド  
所有者:佐々木 善直

## アビリティファーム ジェスロ アーリン

No.0325508168 H21.07.20生  
EX90 5-01  
2-03 305 M10,974kg F3.9% P3.4% SNF8.9%  
父:ロイレーン ジェスロ ET  
母:アビリティファーム デイオール アーリン  
所有者:橋本 幸二

## アビリティファーム サプライズ ピーターチェ

No.0336708625 H22.08.15生  
EX90 04-03  
3-00 305 M9,314kg F4.3% P3.8% SNF9.2%  
父:デューダム サプライズ  
母:アビリティファーム ウエルド ピーターチェ  
所有者:橋本 幸二



# 次世代を担う酪農家が、知識向上のため北海道各地を視察

次世代を担う酪農家が知識向上のため10月27日～29日の3日間で北海道各地を視察してまいりました。

## 1日目

いつもより、早く仕事を

終わらせた11人の青年部員が農協に集まり1日目の目的である本別町の北海道立農業大学校に向けて出発しました。

道中の車内では、久しぶ



りに会う仲間と話が弾み、「この頃何してた？」から始まると本別に着くまで話題が途切れることなく語り、あつという間に北海道立農業大学校に到着しました。

施設を案内してくれた齋藤太香詞氏は、以前に根室改良普及センターで中春別地区

を担当していたため、4Hクラブでお世話になっていた部員も多く、施設に行くまでの間は、近況報告をしながら施設を回りました。

農業大学の給与粗飼料

はコーンサイレージが中心で、今回視察した部員の中には、コーンサイレージを見たことがない部員も多く、実際に触ってグラスサイレージとの違いについて熱心に質問が交わされました。

施設を見学していると、

農業大学校出身の部員に「元気か?」「ちゃんと飯食ってるか?」と在学中担任をしていた先生から話しかけられ、懐かしい学生時代の思い出を話し、時間が瞬く間に過ぎ、次の目的地に向かいました。

## 2日目

午前中の視察先は、ホクレン農業協同組合連合会を視察しました。今回、ホクレ

ン本所を視察するきっかけは、若い部員の意見で、ホクレン本所は「どんな仕事をしているのか知りたい」の一言で、視察することになりました。

当日は、管理本部役員室企画課の飯田昭課長補佐に対応していただき、ホクレン設立の歴史や現在行っている事業など一通りの説明の後に、部員による質疑応答が行われました。

部員からは、「高品質の牛乳に付加価値をつけて、牛乳を高く買い取ってくれるような展開は出来ないだろうか?」など数多くの質問がかわされ、予定時刻いっぱい、日々の疑問を飯田課長補佐から教わりました。

午後からは、千歳市のGEAオリオントレーニングセンターを視察し、これからの搾乳方法について学びました。

GEAオリオンファームテクノロジー(株)庭木一也氏に会場案内と説明を行っていただきました。

施設に入ると、青年部員はまず、最新式自動搾乳ロボットに釘付けになりました。

た。

一通り搾乳ロボットのデモンストラーションを見終わると、搾乳ロボットの導入のメリットとデメリットについての説明がありました。

メリットとしては、搾乳作業がなくなるので、時間に余裕が出来る点や別な作業にもつと力を入れられることがあげられ、デメリットについては、搾乳ロボット導入には施設も合わせて行うため投資が大きくなる点や乳房によつて搾乳が出来ない牛が出てくるため、機械に合った牛の導入が必要になるなどの説明がありました。

導入のタイミングとしては、家族経営で労働力が減り1人当たりの作業負担が、大きくなるタイミングで行っている人が多いそうです。

部員からは、「70歳まで搾乳できるな」と言った意見や「システムが複雑でトラブルがあった時に自分で対応できるかな」など様々な質問があげられ、あつという間に過ぎました。

今回参加していただいた青年部員のみなさまお疲れ様でした。

# 久しぶりに仲間と集まり 食事やゲームで懇親を深めました

女性部・木の実部会お楽しみ会

木の实部会では毎年、部員同士の親睦を深める取り組みとして、11月4日(火)

木の实部会お楽しみ会を開催しました。

各地区から仲間達が集まり、最初は食事



食事をしながらお喋りを楽しむ木の实部会のみなさん

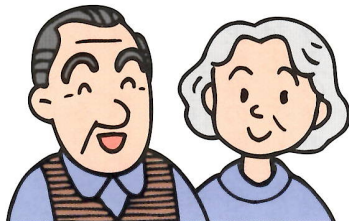
り、最初は食事をしてしながらお孫さんの話などで会話が弾み、あつという間に時間が過ぎました。話も落ち着いたところで、景品を賭けての「うちわすくいゲーム」を開催いたしました。片手うちわを持ち、机に詰まされたお菓子を1回にどれだけ多く「うちわ」ですくうことが出来るかをトーナメント形式で行いました。



笑顔いっぱい久しぶりの交流を楽しみました

ゲームが始まると思っていたよりも意外と難しく、ゆっくりすくうと数が多く取れなかったり、かといって勢いよくすくうとたぐさ取れる時もある、勢いがつきすぎて何もすくえなかったりと、悪戦苦闘しながらも、最後にはこつを掴み決勝戦は接戦となりました。

最後に参加した部員に景品が渡され、大盛況の中お楽しみ会が終了しました。



農業者年金を受給している皆さまへ

## 平成26年分の「公的年金等の源泉徴収票」の送付について

農業者年金の平成26年分の「公的年金等の源泉徴収票」は、受給者全員に、「独立行政法人農業者年金基金」より1月31日までに送付されます。(ハガキ形式で送付されます。)

「公的年金等の源泉徴収票」は紛失されないように大切に保管してください。

もし紛失された場合は「独立行政法人農業者年金基金」へ再交付の依頼をしてください。

問合せ・依頼先: 独立行政法人農業者年金基金 給付課 TEL03-3502-3945

### 農業者年金へ加入している皆さまへ

- 農業者年金の保険料は、確定申告の際、全額が社会保険料控除の対象です。
  - 農業者年金の保険料の納付額は、JAの貯金通帳の記帳により確認できます。
  - 農業者年金の保険料は、確定申告の際、証明書等の添付が不要です。
- ※証明書等の添付が不要であること及びJAの貯金通帳の記帳により保険料の納付額が確認できることから、農業者年金基金は被保険者に証明書等は発行しておりません。ご理解をよろしくお願いいたします。
- 前納保険料は、今年または翌年のどちらかに確定申告することができます。

今にも雨が降り出しそうな、曇り空のもと中春別小学校社会科見学が行われました。

まず子供達は、「農協の仕事はどんなことをしているのか？」を勉強するために団地センターに集まり、小湊組合長から農協の仕事についての説明を受けました。

次に子供達からの質問で



高市課長が子供達に分かるように農協内を案内・説明をしました

は、「牛乳を運ぶ車は、1回にどれだけ運べるんですか？」「1日にどれだけ

## 農協ってどんな仕事をしているの？

### 中春別小学校 社会科見学



牛乳が運ばれるんですか？」と積極的に質問がかわされました。なかには、「モーちゃんは今日居ますか？」とかわい質問もあり、終始和やかな雰囲気です。座学が終わり、職場見学に向かいました。



「ここは農機具・自動車などの修理、点検をしているところ」と鎌田職員が説明

「この機械は何をする機械ですか？」と農協職員・高市課長に質問する場面が多く見られました。

その隣にありますマシニングセンターでは、知り合いのお父さんが対応してくれたと言ったこともあり、緊張していた子供達の顔にも笑顔が戻り、「仕事は大変ですか？」や「どんな時が大変ですか？」と子供ならではの質問が多く、

出たりと緊張もほぐれ、最後の見学先の生乳課へと向かいました。

生乳課につくと、子供達は白衣を着た職員を見て「お医者さんみたい」「ここで何してるのかな」と子供達の興味が一番高く、見たことのない検査機器に戸惑いながら、平間課長の説明を聞きました。

一通りの説明が終わり、顕微鏡での検査方法を体験しました。

子供達からは、「こんなにたくさん検査をして牛乳が出来るんだ」と普段、給食で飲んでいる牛乳が工場に行くまでの沢山の検査があることを勉強しました。



▲実際に顕微鏡を覗いて体験しました  
▶ 平間課長よりの生乳の検査説明を聞く生徒達

根室農業改良普及センター  
**営農対策情報**

# 冬季間の乳牛への飼料給与

今この季節は一年で最も寒い時期です。乳牛は寒さに適応するため、より多くのエサを食べます。もちろんエネルギーもたくさん必要になります。乳牛が屋外で飼養され、被毛が雪などで濡れていたり、強い風にさらされている場合は、さらに多くのエネルギーが必要になります。

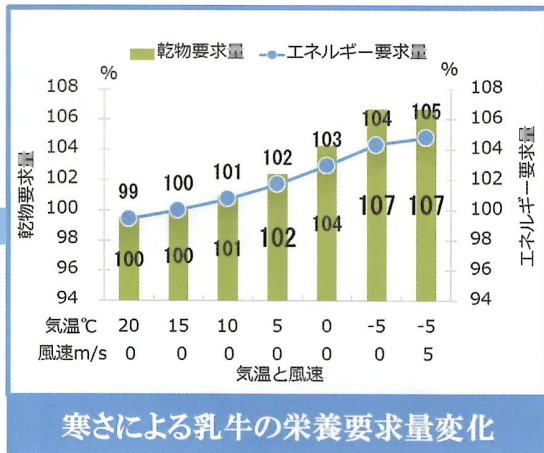
冬季間の乳牛の飼養管理は、牛を寒さから守りつつ、あと一口多くエサを食べてもらうことがポイントになります。

## 厳寒期の粗飼料

寒さに負けず乳を出してもらうためには、粗飼料をできるだけ多く食べさせて乳牛の必要栄養量を充足させる必要があります。乳牛へ粗飼料をたくさん食べてもらうには、し好性や栄養価が高い粗飼料給与が原則です。特に冷え込みが厳しい1月〜2月は、1番草を中心に手持ちの中から最も良い品質の粗飼料を選んで給与しましょう。

## 無いエサは食べられない

舎飼期の管理で重要なことは「飼



CPM-Dairy3.0.10による評価  
 快適温度(15℃)を100としたときの比率  
 被毛の汚れや濡れが少ない状態



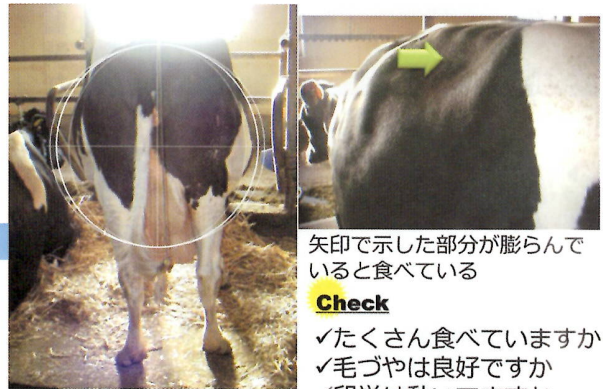
- ✓ 栄養価が高く発酵品質の良い粗飼料を給与する
- ✓ 残飼の量と質をチェック
- ✓ 飼槽に残っていない場合は給与量を増やす
- ✓ 残っている部分が多い場合はほとんどない場合も給与量を増やす
- ✓ エサ寄せはマメにする

槽を空にしないことです。残飼の量と質を確認し、飼槽にまったく残っていない、残っている部分も堅い繊維のみで、食べられる部分が少ない場合は、給与量を増やす必要があります。飼料が牛から遠く離れて食べられない場合は、エサ寄せ作業を強化して下さい。

## しっかりと食べているか

牛が十分エサを食べているかの指標にルーメンフィル(ルーメンの充満度を示す)というものがあります。採食量の不足は、そのことがエネルギー不足の原因となります。食べられない原因を究明し、食べられるようにする必要があります。ところが、腹一杯食べているにもかかわらず、エネルギー不足の症状(毛づやが悪い・卵巣静止・卵巣のう腫・発情微弱など)がある場合は、飼料全体のエネルギー濃度を上げていく必要はありません。低品質の粗飼料を減らし、配合飼料、糖蜜(糖分)、圧片とうもろこし(デンプン)、ビートパルプ(可溶性繊維)及び綿実(油脂)などのエネルギー飼料を乳牛の状況に応じて選択し、増やします。

一度、粗飼料分析を実施し、手持ちの粗飼料がどのくらい力があるのかを確認しておきましょう。

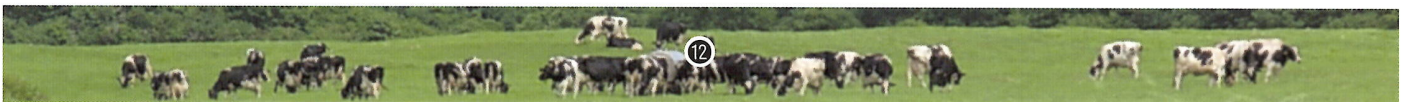
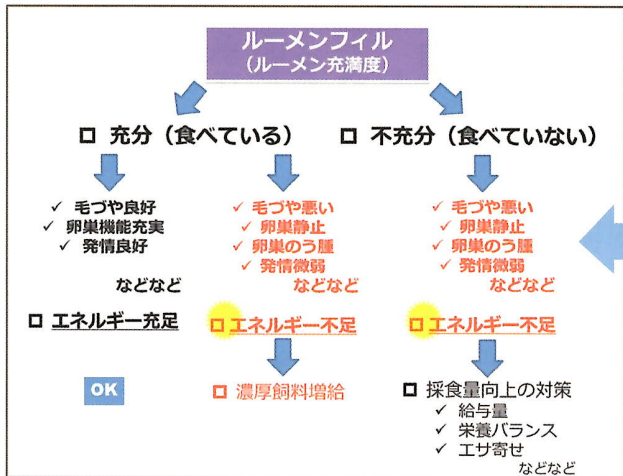


矢印で示した部分が膨らんでいると食べている

## Check

- ✓ たくさん食べていますか
- ✓ 毛づやは良好ですか
- ✓ 卵巣は動いていますか
- ✓ 発情は見えますか

ルーメンフィル(ルーメンの充満度)



もっともっ

# 北海道を食べようランチパーティー

牛乳・米など  
道産食材  
料理試食会

11月22日(土)、中標津町ウエディングプラザ寿宴にて「北海道をもっともっともっ食べようランチパーティー」が開催されました。



多くの方が来場され道産食材を使った料理に舌鼓をうちました

このイベントは2006年から開催され、牛乳や米などの道産食材にこだわった料理の試食、レシピ紹介を行い、地産地消の推進を目的としてJA根室地区青年部連絡協議会、JA根室

地区女性協議会、根室地区酪農対策協議会が主催しており、昨年まではダイナーパーティーとして、行っておりましたが、今年度より、多くのお客様にご来場いただくことを目的に、ランチ

パーティーとして土曜日に開催することとなりました。今年も約250人が来場され、エントランスでは、各地区のキャラクターがお出迎えすると、記念撮影する家族で大人気、会場内では道産米をはじめ、牛乳や根室地域の豊富な魚などを使った6種の料理やJA根室地



当青年部も参加して協力

区女性協が作るおつまみやスイーツの試食、レシピの配布、別会場ではスタンプラリーが行われ、子供から大人まで各地区展示ブースに長蛇の列ができ、大いに盛り上がりました。最後には道産食材など豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、会場は終始大賑わいでした。



子供達に大人気のキャラクターも登場



# 第29回 未経産クラス ホルスタイン 写真コンテスト結果発表

乳牛改良同志会（竹田 潤会長）主催で行いました。  
第29回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けを生産部次長の福島岩夫さんをお願いし、  
**正解は、D→C→F→E→B→A**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。抽選の結果、井上菜々さん、大塚博さん、能登琉花さん、牧野ゆめかさん、佐々木良介さん、小林すばるさん、寺澤佳吾さん、舟橋照子さん、根本祐輝さん、牧野あさひさんに賞品を贈呈いたしますので畜産課畜産指導係までおこし下さい。

## 講評

私が選んだ序列は、D→C→F→E→B→Aの順とさせていただきます。

トップにさせて頂いたD牛ですが、胸の深さ、体の長さ、肋の方向、乳用性において2番目にしたC

牛よりD牛の方が優れていると判断しました。

次にC牛とF牛の比較ですが、C牛の方が首の長さ、肋腹、肢蹄においても優れていると判断しました。

F牛とE牛の比較ですが、F牛の方が首から肩への移行がよりスムーズあり背腰の強さ、皮膚の質感において優れていると判断しました。

E牛とB牛の比較ですがE牛の方が胸の深さ、肋腹の状態において優れていると判断しました。

最後にB牛とA牛です、体の長さ、坐骨の位置においてB牛の方が良いと判断し、このような序列とさせていただきます。

今回、初めてホルスタイン写真コンテストの審査で大変迷いましたが、審査にあたり乳用性に重点を置き行いました。

まだまだ勉強不足だと言われそうですが、今回の審査をさせていただき大変有難うございました。

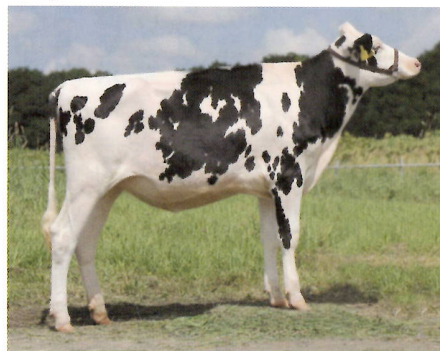
## 1位D



## 2位C



## 3位F



## 4位E



## 5位B



## 6位A



### ●【経営科】カナダ酪農を視察!

11月11日(火)、平成26年度の海外視察研修を実施しました。今年度から視察先をカナダに変更し、4軒の牧場と、ローヤルアグリカルチャルウインターフェアを視察し



サミットホルム牧場

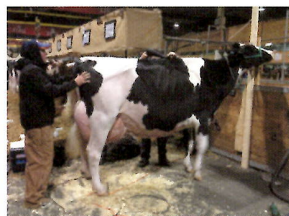
ました。視察した酪農家はいずれも整備が行き届いて正に『舐められるくらいきれいな牛舎と牛』ばかりでした。視察した4軒の牧場はそれぞれ特徴があり、管理方法や乳牛改良への取り組みは参考になるものばかりでした。1件目のサミットホルム牧場はカナダでもモデル的牛舎として知られ世界各国から視察に訪れるそうです。家族経営を基本に飼料の生産は全て外注し



ボスデール牧場

牛群の観察と管理に集中することで高い成果を得ていました。特に建築して間もないフリーストール牛舎は自然換気を最大にする屋根の工夫がされていて圧巻でした。ボスデール牧場はフリーストールと見間違える牛舎の外観に4列のストールがレイアウトされており、特徴的な牛舎の構造をしていました。どの牧場でも「良い体型が良い生産には欠かせない」と口にしており、長命、連産を目指すカナダの乳牛改良の強さを感じさせられました。また、どの牧場でも基幹となるファミリーがあり大切に管理されると共に、フラドン牧場では採卵牛専用の牛舎と採卵専用施設を保有しており、乳牛改良への取り組みの違いを実感させられました。

ローヤルショーでは様々な家畜のコンテストなどと共に世界に名高いホルスタインショーを見学しました。会場は見学者であふれており、大阪と同程度の人口の町で大規模な会場を使つてのシ



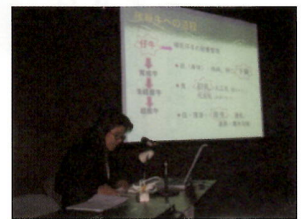
クランドチャンピオン  
ゴールドウイン・ヘイリー

ョーに農業国カナダのすごさを感じさせられました。出品牛はどの牛も素晴らしく、日本の牛よりも大きいだけでなく、尻や肋腹の構造に大きな違いがありました。また乳器も幅、高さとも素晴らしく、更にその牛たちを引き立たせる出品技術にも圧倒されました。更に驚かされたのはセールでの牛の価格です。セ

ールオブスターズのトップセールがなんと1600万円ということで、遺伝子がビジネスとなるカナダ酪農をここでも実感させられました。研修期間中は比較的好天に恵まれ、酪農視察の他にもナイアガラの滝やバンクーバー市内を見学できました。今回は学校単独ではなく、酪農家の方や授精師の方と一緒させていただきましたが、どの方にも大変親切にしてくださいました。ご支援いただきました別海町、別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)ならびに関係者のみなさんに心からお礼申し上げます。

### ●【専攻科】修了研究活動発表会実施

11月26日(水)修了研究活動発表会が実施されました。学生達が1年間自家の課題解決のため、研究に取り組みました。



学生発表の様子

「育成牛の体高調査と繁殖管理について」、「家畜糞尿堆肥の利用について」、「繁殖管理WEBシステムの活用」「EM菌投与による子牛の発育・飼育環境の変化」と題して4つの発表がありました。関係機関から5名の講師がお見えになり、様々な視点から助言やご意見を頂きました。専攻科を修了してからもご助言いただいたことを参考に、経営改善に積極的に取り組んでほしいと思います。

### ●【専攻科】第40回根室管内青年農業者会議へ参加

12月2日(火)に根釧農業試験場にて根室管内4Hクラブ連絡協議会・北海道根室振興局主催の第40回根室管内青年農業者会議が開催され、学生11人が参加しました。



アグリメッセージ発表

アグリメッセージ発表では、1年目学生の青野大地さんが農業者としての想いを、また、プロジェクト発表ではオープン参加として、2年目学生の皆さんが、農業特別専攻科の活動紹介や今後のステップとしての取り組みを紹介・報告しました。

青野さんがアグリメッセージ発表代表として、1月に札幌でおこなわれる全道大会へ出場することとなりました。

参加していた学生も含めて、良い刺激をうけ、今後の糧となった様子でした。

ちょっと早めの

# クリスマスプレゼント!

豊原へきち保育園・中春別へきち保育園

12月8日と9日の2日間で豊原へきち保育園と中春別へきち保育園の保育園児に、ちょっと早めのクリスマスプレゼントがミルク王国の王様から贈られました。

12月8日に豊原へきち保育園、9日に中春別へきち保育園を訪問しました。



子供達は、王様に興味津々ではありましたが、ちょっとびり緊張しながら、王様のお話を聞きま

した。

王様から「毎日牛乳飲んでる人はいますか?」と子供達に質問すると、子供達はいつせいに「飲んでます!」と元気な返事が返ってきました。

次に王様との質問タイムでは、「王様は何歳ですか?」

と子供達からの質問に、「王様は今年で80歳です」と答えると、子供達からは「すごい!」と子供ならではの反応が見られました。

最後に、「王様から保育園の良い子のみなさんにプレ



ゼントがあります」と発表すると、子供達からは歓声があがり、1人1人にヨーグルトと乳製品グッズが王様から手渡しされると「ありがとうございます」と笑顔でプレゼントを受け取り、なかには握手を求める園児もおり大満足の様子でした。

王様が帰るときには玄関まで子供達が見送りし、子供達から「また来てね」と帰りを惜しむ声が聞こえてくると、「王様は来年もまた来るから、みんないい子にしてくるんだよ」と子供達に伝えると、大きく手を振り王様を見送りました。

## 11月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

			単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差
乳脂肪分			870.204		65.09	32.67	2.42
無脂乳固形分			550.863		48.72	45.23	3.49
補給金			4.0064		4.01	3.95	0.06
計画チーズ奨励金			1.7228		1.72	1.79	-0.07
乳質単価	生菌数	ランク1	2	291,006,676.3kg	3.76	3.74	0.02
		ランク2	0	5,840,569.7kg			
		ランク3	-3	116,578.8kg			
	体細胞数	ランク1	2	259,760,318.0kg			
		ランク2	1	20,300,929.9kg			
		ランク3	-2	2,493,294.7kg			
合計					93.30	87.38	5.92

## 11月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	35円09銭	
無脂乳固形分②	48円72銭	
補給金③	4円01銭	
チーズ奨励金④	1円72銭	
脂肪率	全道	4.03%
	農協	4.08%
無脂固形分率	全道	8.85%
	農協	8.79%
成分乳価	全道	89円54銭
①+②+③+④=⑤	農協	89円62銭
乳質乳価⑥	全道	3円76銭
	農協	3円82銭
乳代合計	全道	93円30銭
	農協	93円44銭
⑤+⑥	差異	14銭



# 関連会社より新年のご挨拶

## 謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

平成27年 元旦

- 自動車の点検・整備・検査・農機具の修理
- 自動車・農機具の販売<北海道陸運局指定整備工場>



代表取締役 小湊 保

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

## 謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
本年もご愛顧の程お願い申し上げます。

平成27年元旦

- 支援農作業の一切

## Wamp (有)ジェイエー・ワンブ

代表取締役 小湊 保

別海町中春別南町3番地 TEL・FAX(0153)76-2861

## 謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

平成27年 元旦



## 訪問介護ステーション「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階  
TEL・FAX(0153)76-3383



## 「十二支のひつじの由来」

「未」は、干支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)の8番目です。

羊は、「祥」に通じ、中国の吉祥動物の一つです。

群れをなすところから「家族の安泰」を表すとされ、いつまでも「平和」に暮らすことを意味しています。

「未」の干支の特徴としては、「穏やかで人情に厚い」とされます。また、財テクの才能があると言われ、財を成すのに向いている人も多いようです。

1年を十二支に当てはめた場合、「未」は6月(旧暦)にあたります。

「未の刻」は、午後2時を中心とする約2時間。

「未の方」は、210度＝南南西微西の方角です。

## 編集後記

組合員の皆さま・ご家族の皆さま新年あけましておめでとうございます。

ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられましたことを心より喜び申し上げます。

去年は組合だより「なかしゅんべつ」をご愛読いただき、また、取材の協力をいただきました。今年も地域に密着したフレッシュな情報を掲載します。皆さまの身近な情報をどんどんお待ちしておりますので、どんな小さな事でも結構ですので、どうぞお気軽にご連絡いただければと思っています。

また、新年号の表紙タイトル「なかしゅんべつ」の文字が変わりました。ミルクローリなどいろいろなところで使用され、組合員さんや街の人とも馴染みがあるという事で、元の組合だよりの筆文字を復活いたしました。より一層愛着のある広報誌を目指していきます。

昨年の初雪以降、全道各地での事故が相次いで起こっております。車の運転には十分に気を付けて、また、体調管理にも十分に気を付けてお過ごしください。

今年も皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。